

EV用リチウムイオン全固体電池の開発技術/現状と今後の展望

第 部では、現行リチウムイオンバッテリーの基本とエネルギー・サーマルマネジメントを、
第 部では、バッテリーの安全性向上、EVの航続距離延伸に期待が高まる全固体電池を分かりやすく解説する。

日時
2018年 8月2日 (木)
10:30 ~ 16:30

会場 産業科学システムズ会議室 (東京都千代田区富士見 1 - 5 - 1)

講師

- 第 部 東海大学 工学部 動力機械工学科
教授 工学博士、技術士 (総合技術監理部門、機械部門) 坂本 俊之氏
- 第 部 大阪府立大学 大学院工学研究科 物質・化学系専攻 応用化学分野
教授 工学博士 辰巳砂 昌弘氏

税込受講料

1名 48,600円
2名以上1名 45,360円

案内図



飯田橋駅下車 各徒歩約5分
JR中央線 (緩行線)
地下鉄東西線 (A5出口)
地下鉄有楽町線・南北線 (A4・B2a出口)
都営地下鉄大江戸線 (A4出口)

<お申込要項>

- ・参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX 電話、何れかにてお申込ください。
- ・お申込に際し、社名・部署名・受講者名 住所・連絡先 (TEL・FAX・E-mail) をお知らせください。
- ・お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかでお願いします。
- ・受講料は講座後のお支払いも対応致します。(個人申込除く)
- ・開催日前14日以降のキャンセルはお受けできません。
- ・受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

- ・EVにおける高性能二次電池技術とサーマルマネジメント
 - 1. 電動車両における高性能二次電池技術
 - a. リチウムイオンバッテリーと二次電池
 - b. リチウムイオンバッテリーの特性 (電極材、電解液、容量、コスト、性能)
 - c. 最新のバッテリー技術 (全固定電池、他)
 - 2. 高性能二次電池のエネルギー・マネジメント
 - a. 電動車両とエネルギー・マネジメント
 - b. 組バッテリーとエネルギー制御
 - c. 車両制御システムとの情報通信
 - 3. 高性能二次電池の劣化診断
 - a. バッテリー等価回路と回路応答特性
 - b. バッテリー起電力と内部抵抗
 - c. バッテリー交流インピーダンス測定と解析
 - d. バッテリーの劣化診断技術と課題
 - 4. 高性能二次電池のサーマルマネジメント
 - a. バッテリーとサーマルマネジメント
 - b. サーマルマネジメントデバイスの実例 (ヒートパイプ、サーモサイフォン)
- 東海大学 坂本氏 : 10:30 ~ 14:30 (3hr)
- ・全固体電池の開発技術と今後の展望
 - 1. 全固体電池の特長と研究動向
 - 2. 無機固体電解質材料の基礎
 - 3. 硫化物系ガラスペース固体電解質の合成手法
 - 4. 成形性に優れた酸化物系固体電解質材料
 - 5. バルク型全固体電池の基本構成
 - 6. 全固体リチウム二次電池における界面構築
 - 7. 活物質粒子への電解質コーティング
 - 8. リチウムイオン電池の全固体化
 - 9. 全固体リチウム-硫黄系電池
 - 10. 全固体ナトリウム電池
 - 11. 今後の展望
- 大阪府立大学 辰巳砂氏 14:30 ~ 16:30 (2hr)

お申込・お問合せは

主催 **ISS 産業科学システムズ**
<http://www.ebrain-j.jp/>

TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675
E-mail: education@ebrain-j.com

申込書 FAXは 03-3264-5675

講座参加申込書 EV用リチウムイオン全固体電池の開発技術/現状と今後の展望

セミナーコード

1101-180802

太枠内をご記入の上FAX (03-3264-5675) してください。

2018/8/2 ISS

社名		所在地			電話	()
No.	所属部課 (正式名称)	氏名	E-mail	アドレス		-
					FAX	()
						-
窓口部署					お支払予定	当日持参 銀行振り込み
この講座をお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト() その他						